

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん！

平成26年4月1日発行 季刊

発行責任者：根っから地元派 ばん よしはる
ban-4@ares.eonet.ne.jp

第27号

こんにちは、ばんよしはるです。三室山の桜も、いよいよこれから見ごろになる春を迎え、新年度が始まろうとしております。

私は、この季節になると毎年、花粉症に悩まされるのですが、いろいろな所で新しい人と人の出会いがあり、新鮮な気持ちにさせていただいております。

まず、この3月議会で議会決議したことや、役場から報告があったことを報告させていただきます。

まず始めに、平成26年度の新しい町の事業として、乳幼児B型肝炎予防接種の費用の一部助成が始まります。これはB型肝炎を予防するため、生後2か月から24か月までの乳幼児を対象に行われるもので、全国でもまだ行われている自治体が少なく、厚生労働省の情報をいち早く取り入れた先進的なものになっています。

また、国の方では平成28年度から社会保障・税番号制度導入に向けて、市町村のシステムの変更を通知してきており、今後住民生活にどのように影響があるのかまだ、わかりませんが、気を付けて注視おく必要があると思っております。

また、中央公民館の隣を通る都市計画道路は現在国道25線に繋がっておりませんが、地権者と町との協議が進み、国道までの道路開通計画が議会に示されました。

次に、国の事業である国道25号線のいかるがパークウェイですが、小吉田・稲葉西区間が3月30日開通しました。この稲葉車瀬と小吉田の地域は、交通量の多い国道の抜け道として、多くの車が狭隘な生活道路に流れ込み、地元住民の皆様にご迷惑をかけたきましたが、供用開始により、少しでも不安が解消されるようになることを願っております。

今後、三室交差点までの進捗につきましては、住民の声に耳を傾け、よりよい道路になるように国に対しても訴えてまいります。

また、三室病院前の歩道については、住宅開発及び商業施設が開業するなどのタイミングに合わせ、町の担当課を通じて、開発許可に伴う行政指導を行うと共に、国道事務所にも歩道の拡充を訴えてまいりました。その結果、狭隘な部分の距離が短縮いたしましたが、残りの部分に対しても、一日も早く歩行者が安心して通行できるように努力いたします。

斑鳩町も高齢化率が27%を超え、少子高齢化を本格的に向かえようとしており、町財政と社会保障をどのように考えていけばよいのか、これから確実に言えることは、どれもこれもでなく、事業の選択が必要になるということです。

これからも、皆さんのいろいろなご意見を聞かせていただき、事業の優先順位を間違わないように心がけてまいります。

今日より、少しでも明日が良くなる「まち」にするために！

まちの未来は、住民一人ひとりの想いで変えられるということです。



この「瓦ばん！」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しくお願いいたします。